

# 令和4年度助成事業実績報告総括表

(単位：円)

助成対象区分 / 事業名		事業の趣旨	実施事業数	確定額
<b>I スポーツ・レクリエーション指導者の養成・確保と充実に対する事業への助成</b>			<b>6</b>	<b>2,370,000</b>
1 スポーツ・レクリエーション指導者養成事業		スポーツやレクリエーションに関する指導者等の養成や指導者としての資質の向上を図る事業に対する助成。	6	2,370,000
<b>II 生涯スポーツの振興に対する事業への助成</b>			<b>27</b>	<b>13,874,000</b>
2 スポーツを通じた人づくり事業	1 子どものスポーツ環境に関する事業	子どもの体を動かす機会の減少や発達段階に応じたスポーツ指導を受けられないなどの課題を解決するために、子どもがその能力や興味・関心に応じ、スポーツ活動に取り組む機会を創出する事業に対する助成。	9	4,981,000
	2 成人のスポーツ環境に関する事業	これまでスポーツ活動に対して必ずしも関心が高くなかった働き盛りの年代のスポーツ参加意識を向上させ、スポーツ活動に取り組む機会を創出する事業に対する助成。	4	2,376,000
	3 障がい者のスポーツ環境に関する事業	障がい者が身近な地域で日常的にスポーツ活動を行ったり、健常者と合同で活動する機会は依然として少ないため、障がい者がその障がいの程度に応じて、多様な形でスポーツを楽しめる環境（サポート体制を含む）を整備する事業に対する助成。	2	583,000
	4 高齢者のスポーツ環境に関する事業	高齢者が、それぞれの健康状態や身体能力に応じて体を動かしたり、運動やスポーツを楽しんだりすることができる環境を整備する事業に対する助成。	5	1,449,000
3 スポーツを通じた地域づくり事業	1 地域活性化等に関する事業	子どもから高齢者までの多くの県民が、地域社会という日常生活圏の中でスポーツを通して、豊かな人間関係を育むなど、地域の活性化を図る事業に対する助成。	4	2,589,000
	2 交流人口拡大に関する事業	スポーツを通して、多くの県民が他県や他国のの人々と県内で交流できる環境を整備する事業に対する助成。	3	1,896,000
<b>III スポーツ施設の整備と活用に対する事業への助成</b>			<b>1</b>	<b>5,410,921</b>
4 スポーツ相談・啓発・情報提供事業		公益財団法人福島県スポーツ協会が行うスポーツ相談や啓発・情報提供事業に対する助成。	1	5,410,921
<b>IV その他基金の目的を達成するために必要な事業への助成</b>			<b>22</b>	<b>17,358,539</b>
5 ふくしまスポーツキッズ活動支援事業		公益財団法人福島県スポーツ協会が行う子どものスポーツ機会の創出や体力測定等に対する助成。	1	2,021,169
6 ふくしまレクリエーションフェスタ支援事業		ふくしまレクリエーション実行委員会が行う「ふくしまレクリエーションフェスタ」の開催に対する助成。	1	950,000
7 スポーツボランティア支援事業		特定非営利活動法人うつくしまスポーツルーターズが行うスポーツボランティア関連事業に対する助成。	1	1,050,000
9 生涯スポーツ地域連携事業	1 総合型地域SC(スポーツクラブ) 支援事業	他団体と連携し、地域の多様なニーズや地域課題に応える総合型地域スポーツクラブの特色ある活動に対する助成。	4	2,723,000
	2 広域スポーツセンター支援事業	広域スポーツセンターが行う生涯スポーツ関連事業に対する助成。	1	900,000
	3 総合型スポーツクラブ連絡協議会支援事業	公益財団法人福島県スポーツ協会が行う総合型地域スポーツクラブ連絡協議会関連事業に対する助成。	1	8,049,370
10 障がい者スポーツ地域連携事業		障がい者スポーツの普及・振興及び、障がい者のスポーツ活動を通じた地域社会参加の促進を目的として、県内広域的かつ継続的な事業を行う団体に対する助成。	1	1,117,000
11 地域スポーツ活動再開支援事業		生涯スポーツ活動を行う団体が、事業を実施する際に必要な新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に向けた取組に対する助成。	12	548,000
			<b>56</b>	<b>39,013,460</b>

### 令和4年度助成事業実績報告細目表

助成対象区分	I	スポーツ・レクリエーション指導者の養成・確保と充実に対する事業への助成		助成率	上限額	500,000円
助成対象事業名	1	スポーツ・レクリエーション指導者養成事業		助成割合	総助成対象経費の4/5以内	
No.	団体名	事業名	事業内容	成果報告	事業実施箇所	確定 総助成対象経費 助成額
1	特定非営利活動法人福島県ウォーキング協会	スポーツコミュニティリーダー養成講座	地域で主体的にウォーキングイベント等を開催していくスポーツコミュニティリーダーの養成を目的とした、オンラインセミナー・実地研修、テキスト講座で構成される講習会の開催事業。 【対象者】 県内のスポーツ推進委員、レクリエーション指導者、スポーツ少年団指導など（定員30名）	1月21日開催（郡山市） ①オンライン講義（受講者は会場参集） 「ウォーキングの歴史」「ウォーキングに関するリスクマネジメント」 ②実技 「指導者のためのコミュニケーション・転倒防止」 「ストレッチ・ウォーキングの基礎」  （一社）日本ウォーキング協会の公認指導者のオンライン講義の後、実技講習を行い、県内全域から受講した32名がスポーツコミュニティリーダーの資格を取得した。今後は、地域のスポーツイベントや、地域スポーツクラブなどで資格者として活動する他、さらなる上級資格を取得し、より幅広い地域でのスポーツ活動を推進することを目指す。	市民交流プラザ（郡山市ビッグアイ）、吾妻学習センター分館（福島市）、郡山市立中央公民館	789,130 500,000
2	福島県スポーツ推進委員協議会	令和4年度福島県スポーツ推進委員研究大会	【継続事業】 スポーツ推進委員の資質向上を図るとともに、生涯スポーツの振興に資することを目的とした研究協議大会の開催事業。 県内のスポーツ推進委員、市町村のスポーツ担当者を対象に、いわき市で2日間にわたって開催（講演・実技）	10月14日（講演会・シンポジウム）参加者219名 ○講演「スポーツによるひとづくり・まちづくり」 講師：大倉 智 氏（株式会社いわきスポーツクラブ代表取締役） ○シンポジウム「スポーツボランティアの普及と発展に向けて」  10月15日（実技研修） 参加者98名 ○カローリング、スポーツチャンバラ、ファミリーゴルフ	パレスいわや（いわき市）、いわき市総合体育館、21世紀の森公園集いの広場	717,000 500,000
3	福島県スポーツ指導者協議会	福島県スポーツ指導者研修会開催事業	【継続事業】 公益財団法人日本スポーツ協会公認指導者や県内各地におけるスポーツ指導者を対象に講習会を開催する事業（更新研修会）  全県研修会 令和4年12月11日 （会場：郡山市 100名程度）	12月11日 参加者129名（前年度120名） ○講義Ⅰ「指導者に必要なコミュニケーションスキルとLGBTQなど多様性に応じた指導のあり方について」 ○講義Ⅱ「プレイヤーズセンタードなコーチングについて」 【講師】 沖 和砂 氏（会津大学文化研究センター教授） 小野 覚久 氏（日本スポーツ協会コーチディベロッパー） 渡部 琢也 氏（会津大学短期大学部講師）	郡山ユラックス熱海	697,364 500,000

4	特定非営利活動法人日本大道館連盟	昇級昇段審査および審判講習会・指導者養成事業	<p>地域でのスポーツチャンバラの指導や普及を目的とした、スポーツチャンバラの審判員の養成講習会を県内各地で開催する事業。</p> <p>(全5回 各回定員40名程度)</p>	<p>4月29日 伊達市 受講者：16名 6月12日 いわき市 受講者：15名 10月30日 郡山市 受講者：25名 ※福島市開催は新型コロナウイルス感染症のため2回中止</p> <p>コロナ禍での開催であったが、青少年世代を中心に積極的な参加があり、指導技術向上の意欲が見て取れた。活動に制限がある中での会場確保や、競技人口の減少など課題はあったが、底辺の拡大を図るためにも質の高い指導者・審判員の養成を今後も継続していきたい。</p>	伊達体育館（伊達市）、山田公民館（いわき市）、日和田公民館（郡山市）	221,850	177,000
5	福祉レクリエーションネットワークinふくしま	2022年度福島県福祉レクリエーション・セミナー	<p>【継続事業】 社会福祉施設職員、社会教育関係者、ボランティアなどを対象に、福祉領域におけるレクリエーションの意義・役割を伝え、さまざまな素材の体験と素材を提供する際に必要な技術、考え方を学ぶ講習会の開催事業。また、（公財）日本レクリエーション協会の「レクリエーションインストラクター」資格取得に必要な単位が取得できる。</p> <p>第1回 7月 郡山会場 第2回 8月 福島会場 第3回 10月 白河会場 第4回 11月 郡山会場 第5回 11月 福島会場 (県内4カ所 全5回開催予定)</p>	<p>第1回 7月 福島市 参加者：31名 「高齢者へのアプローチ」 第2回 8月 郡山市 参加者：14名 「子どもの運動遊びとレクリエーション」 第3回 10月 いわき市 参加者：24名 「介護予防・認知症予防のレクリエーション」 第4回 11月 白河市 参加者：22名 「子どもの遊びと感覚統合」 第5回 12月 福島市 参加者：26名 「子どもの発達を促すあそびのみかた」 第6回 2月 福島市 参加者：14名 「認知症予防最前線2023」</p> <p>全5回の開催予定であったが、1回増やして全6回開催した。各回、テーマに沿った専門分野の講師による講義・実技・グループワークを行い、福祉分野の施設職員やボランティア等のスキルアップや、資格取得に結びつく人材養成のための効果的な講習を行った。</p>	福島県文化センター、ラコパふくしま（福島市）、郡山市青少年会館、いわき市中央台公民館、サンフレッシュ白河、	1,039,483	500,000
6	福島県グラウンド・ゴルフ協会	三級普及指導員養成講習会	<p>【継続事業】 日本グラウンド・ゴルフ協会の三級普及指導員の養成講座を県内4カ所で開催し、指導員の資格取得および各地域でのリーダーを養成を目的とした事業</p> <p>(全4回開催)</p>	<p>グラウンド・ゴルフのルール、三級普及指導員の任務、指導方法などについて座学、実技の講習を県内4カ所で全4回開催した。 受講者98名（前年度107名）が、日本グラウンド・ゴルフ協会公認三級普及指導員の資格を取得した。</p> <p>7月8日 浜通り会場（いわき市） 15名参加 7月14日 中通り会場（川俣町） 35名参加 7月14日 会津会場（会津美里町） 15名参加 8月2日 県中会場（須賀川市） 33名参加</p> <p>コロナ禍の影響などもあり、前年度より参加者は少なかったが、各地域での指導員を養成することで、グラウンド・ゴルフをとおした高齢者の生きがいや健康維持のため今後も継続して普及拡大を図りたい。</p>	四倉公民館、仁井田運動場（いわき市）、おじまふるさと交流館（川俣町）、本郷生涯学習センター（会津美里町）、須賀川市東公民館	242,486	193,000
合 計						3,707,313	2,370,000

助成対象区分	Ⅱ	生涯スポーツの振興に対する事業への助成
助成対象事業名	2	スポーツを通じた人づくり事業
	1	子どものスポーツ環境に関する事業

助成率	上限額	※600,000～ 800,000
	助成割合	総助成対象経費の4/5以内

※600,000円 開催が年間3回未満の事業  
800,000円 開催が年間3回以上の事業

No.	団体名	事業名	事業内容	成果報告		確定	
						総助成対象経費	助成額
1	特定非営利活動法人福島県ウォーキング協会	『絆と友情スポーツ交流イベント教室』スポーツの楽しさを体験しよう	<p>県内の小学生と保護者を対象に、公園内に設置した5km程度のウォーキングコース上にスポーツ体験ができるレクステーション（ミッション）を3か所設置し、ミッションをクリアしながらゴールを目指すウォーキングイベントの開催事業。</p> <p>【対象者】 県内の小学生と保護者 200名程度</p> <p>【レクステーション内容】 ・ラダーゲッター ・ユニカール ・ターゲットゴルフ</p>	<p>10月9日（あづま総合運動公園内） 小学生・保護者 延べ83名参加</p> <p>【レクステーション内容】 ・ラダーゲッター ・フープディスクゲッター ・スラックライン ・ポッチャ</p> <p>全長5kmのコースであったが、ミッションをクリアしながらゴールを目指すことで、低学年の子どもでも最後まで楽しんで歩ききることができていた。また、感染症対策のため、時差スタートおよび2方向からのスタートとし、レクステーションを4か所に増やして開催した。 今回、学校単位での募集活動が難しかったことや、開催した10月は運動会や様々なスポーツイベントが実施されることもあり、参加者が想定の半分以下となってしまったので、今後は時期なども考慮して計画したい。</p>	あづま総合運動公園	798,031	500,000
2	ひらたスポーツクラブ	トップアスリートランニング教室	<p>村内の小中学生を対象に、トップアスリートとのふれあいを通じて、スポーツの楽しさを学んだり、積極的にスポーツに親しむ資質を育むことを目的としたランニング教室の開催事業。</p> <p>参加想定：村内の小中学生 100名程度</p>	<p>8月2日開催 小学生33名、中学生33名参加</p> <p>元日本代表選手を講師に迎え、ランニングの基礎やフォームなどについて実技指導をしてもらうランニング教室を開催した。トップアスリートから直接アドバイスや指導を受けることで、参加者の意識向上につながり、運動するきっかけをつくることのできたので、今後はさらに継続して運動する機会を提供できる事業を提案していきたい。また、講師と村内のスポーツ指導者との意見交換会も実施し、今後のスポーツ指導の在り方についても活かしていきたい。</p>	平田村多目的グラウンド、平田村中央公民館	160,640	125,000
3	特定非営利活動法人白河市体育協会	ビギナー&レベルアップジュニア教室	<p>【継続事業】 これまで中学生を対象とした4種類のスポーツ教室（レベルアップジュニア教室）を、発達段階からスキルに応じて参加できるように小学4年生から参加できるビギナーコースを新設して開催する。</p> <p>①サッカー教室 全23回開催予定 ②バドミントン教室 全36回開催予定 ③卓球教室 全36回開催予定 ④陸上教室 全24回開催予定</p>	<p>【実施内容】 ①サッカー教室 全23回 延べ320名 ②バドミントン教室 全36回 延べ792名 ③卓球教室 全36回 延べ506名 ④陸上教室 全24回 延べ434名</p> <p>新設したビギナーコースでは、これまで興味があったが挑戦する機会がなかった小学生への参加のきっかけとなり、楽しく基礎から学びながら継続したことで、中学校に進学してからの部活動へつながるきっかけとなった。一方で中学生は、学校の部活道や塾など放課後の時間が限られている中で、スキルアップや引退後の運動の場として活用していた。 昨年度より多くの参加者があり、子どもの運動場慣れに歯止めをかけられるよう今後も継続して実施したい。</p>	白河市総合運動公園(アナビススポーツプラザフットサルコート、中央体育館、陸上競技場)	1,796,243	800,000

4	特定非営利活動法人福島県レクリエーション協会	あそんで元気アップ指導者派遣事業	<p>県内の保育施設、幼稚園、子育て支援センター、小学校など対象とした、幼児～親子に向けた出前型運動教室の開催事業。</p> <p>①幼児・親子向けプログラム C5忍者ランドで体力づくり、変身ごっこで体力づくり、園にある道具で体力づくり</p> <p>②児童向けプログラム C5忍者ランドで体力づくり、学年別元気アップエクササイズ、ニュースポーツ体験教室</p>	<p>①幼児向けプログラム 全17施設 親子向けプログラム 全5施設 ②児童向けプログラム 全11施設</p> <p>参加者：子ども 1,326名 保護者 328名</p> <p>遊びの要素を取り入れ、走る・跳ぶ・転がる・投げるなど様々な動きで飽きずに運動できることで、子どもたちは終始楽しく取り組むことができていた。特に、変身プログラムや園にある道具を使つてのプログラムは、普段の遊びの中で子どもたちが自然と運動するきっかけとなった。 申込が想定以上に多くあったため、全てに対応することができなかったため、今後は日程調整などを工夫し、より多くの施設で子どもたちに運動機会を提供できるよう行っていきたい。</p>	福島県内全域	956,279	741,000
5	総合型地域スポーツクラブマルベリーこおり	マルベリーキッズ運動教室	<p>小学生を対象に、キッズコース（1～3年生）とジュニアコース（4～6年生）にクラス分けをして鬼ごっこや縄跳びなどの日常の遊びを取り入れたSAQトレーニング（運動神経向上トレーニング）を中心とした運動教室の開催事業。</p> <p>（毎週1回 全37回開催予定）</p>	<p>全31回開催 参加者：延べ588名 ※7月下旬～8月は新型コロナウイルス感染症の蔓延により教室を一時休止</p> <p>教室1コマの中で、ボール運動・縄跳び・鬼ごっこ・ラダー・ミニハードルなどの複数の種目を行うことで遊びやゲーム感覚で様々な強度の運動ができ、子どもたちも楽しんで通い続けることができた。また、専門知識を持つ外部指導者を講師としたことで、保護者からも安心して通わせることができたとの声もあり、コロナ禍での行動制限やイベント縮小の中、子どもたちの運動不足解消にも大きな役割を果たせた。</p>	桑折町民体育館、醸芳中学校	582,079	465,000
6	福島県カヌー協会	みんなでカヌーを楽しもう！	<p>【継続事業】 親子でカヌースポーツに触れる機会を提供する講習会、体験会の開催</p> <p>①カヌーの基本動作練習（全19回） ②競技艇に挑戦してみよう（全20回） ③大会に参加してみよう（全3回） ④親子カヌー体験事業（全4回） ⑤桧原湖での日帰り親子キャンプ（全1回） ⑥ミニ記録会（全5回）</p>	<p>全50回開催 延べ343名参加</p> <p>①全20回開催 ②全17回開催 ③全3回 ④全4回（5月9日 阿武隈漕艇場開催） ⑤全1回（8月7日 桧原湖松原キャンプ場） ⑥全4回</p> <p>コロナ禍でもカヌー体験をとおして、スポーツや体を動かす楽しさを感じてもらうことができ、地域のスポーツ資源を活用して継続的に運動することで、運動不足の解消や仲間での活動することの楽しさを感じる機会を提供できた。また、事業の募集にあたってはチラシに二次元バーコードを付すことで、参加申し込みや参加者の集約を簡単に行うことができた。</p>	阿武隈漕艇場、桧原湖、精進湖	588,483	470,000

7	こみち体操クラブ	楽しんでスポーツ体験トライ!	小学生とその保護者を対象とした、様々な種目の体操や運動教室の開催事業。  【実施内容】 ①親子でエクササイズ&ヨガ(全18回) ②親子でトランポリン(全2回) ③親子で脳トレ&運動(全2回) ④ポッチャ体験教室(全2回)  各回15組程度の親子の参加を想定	①全20回 参加者:158名 ②全2回 参加者:35名 ③全3回 参加者:57名 (ラウンドネット・モルック・ライフキネティック) ④全1回 参加者:17名  親子で一緒に参加することで、時間や体験の共有ができ、自宅でもヨガのポーズや教室で覚えたエクササイズを行う時間を持つきっかけになったり、通年で色々な種目を体験できるので楽しんで続けることができたとの声が寄せられた。 その一方で、公共の体育施設の予約が取りにくく、場所の確保が難しいため、計画通りに開催できないこともあった。	あづま総合運動体育館	456,577	350,000
8	特定非営利活動法人ひのきスポーツクラブ	チビッコアスリートクラブ&ジュニアアスリートクラブ	【継続事業】 小学生を対象に、コーディネーショントレーニングやサーキットトレーニングなどの運動神経発達プログラムを中心とした学年別運動教室の開催事業。  ①チビッコアスリートクラブ 小学1~2年生対象 ②ジュニアアスリートクラブ 小学3~6年生対象 (年間16回開催予定)	全18回開催 延べ138名参加(①60名 ②78名)  (実施内容) 体力測定(2回)、ラダーやミニハードルを使った運動、ランニング教室、ボール運動、スキーにつながる運動、野外遊び(虫取り)  年間を通じて様々な内容の運動教室を開催することにより、子どもたちが興味を途切れさせることなく参加することができた。また、体力測定を実施することで、自身の成長を実感や向上心を育むことにつながり、この教室の参加がきっかけでスポーツ少年団や総合型SCへの入会など、さらに継続したスポーツ活動への足がかりとなった。	桜沢小学校体育館・校庭、針生地区	346,813	730,000
9	NPO法人福島県スポーツマネジメント協会	放課後体力向上運動	【継続事業】 地域の小学生を対象に、数種類の運動教室を毎週開催する事業。  【実施内容】 脳トレで体力向上、様々な運動体験、ダンス教室 (週2回 全60回程度)	脳トレ(ライフキネティック)(全5回) 様々な運動体験(ストレッチ体操)(全4回) ダンス教室(全48回)  合計57回 小学生延べ613名  この助成事業をきっかけとし、ダンスとバスケットボールのスポーツ少年団が設立され、より一層スポーツを継続して行う環境が整備された。	なみえ創成小中学校体育館	1,050,700	800,000
合 計						6,735,845	4,981,000

助成対象区分	Ⅱ	生涯スポーツの振興に対する事業への助成
助成対象事業名	2	スポーツを通じた人づくり事業
	2	成人のスポーツ環境に関する事業

助成率	上限額	※600,000～ 800,000
	助成割合	総助成対象経費の4/5以内

※600,000円 開催が年間3回未満の事業  
800,000円 開催が年間3回以上の事業

No.	団体名	事業名	事業内容	成果報告	事業実施箇所	確定	
						総助成対象経費	助成額
1	公益財団法人福島県都市公園・緑化協会	あづま夕焼けパークマラソン	公園内に3.3km×3周のコースを設定し、18才の市民ランナーを対象に夕暮れの間から開始するマラソン大会の開催事業。  ①10kmの部 16時40分スタート ② 5kmの部 16時45分スタート  (500名程度の参加想定)	8月28日開催 参加者 ①男子 163名、女子 32名 ②男子 103名、女子 39名  コースを公園内に設置したことにより、夕暮れ時でも事故等のリスクが少なく、給水ポイントや熱中症対策のミストシャワーを設置することにより、参加者が安心して参加できる対策を講じることができた。終了後の参加者アンケートでも、継続を要望する声が多く寄せられ、本格的なマラソンシーズン前の大会として地域に定着できるよう、今後も取り組んでいきたい。	県営あづま総合運動公園	1,753,424	500,000
2	一般社団法人にほんまつ城山クラブ	大人のヘルスアップ教室	【継続事業】 社会人を対象に、バレエ・フィットネス・ヨガを組み合わせた体幹や筋力の維持向上や脂肪燃焼に効果的な運動のバレトン教室を開催する事業。  (毎週1回 全48回開催予定)	全46回(講師の都合により2回休止) 参加者:延べ262名  バレトンでは様々な強弱のある動きの運動を行うので、はじめは少しキツイと感じる参加者もいたが、回数を重ねるごとにしっかり体を動かせるようになってきたり、動きが楽に感じるようになり、運動効果を実感できたとの声もあった。また、参加者の口コミで徐々に参加人数も増えたが、ほとんどが女性であったため、今後は男性の参加者も増やせるよう内容を工夫して行いたい。	市民交流センター(二本松市)	353,840	283,000
3	ハマダメディカルサポート株式会社	田村市健康UP塾	市内や近隣地域の成人を対象に、参加者の目的に応じて選べる様々な運動教室の開催事業。  軽運動・ヨガ・エアロビクス・シェイプアップ (毎月2～8回程度)	○軽運動教室 全66回 延べ379名参加 ○ヨガ教室 全48回 延べ401名参加 ○シェイプアップ教室 全24回 延べ95名参加 ○エアロビクス教室 全20回 延べ112名参加  20代～80代まで幅広い年代の参加があり、それぞれの目的や体力に合った教室を選択して参加していた、複数の教室に通う参加者もあり、身近に通える運動教室として徐々に参加者も増加していった。その反面、会場の規模に対し参加者希望者が多くなってしまい、回数の増加や時間帯の工夫などで対応した。	APスポーツクラブトレーニング室	1,097,159	793,000
4	特定非営利活動法人福島県レクリエーション協会	県民スポーツ・レクリエーション講座等各種講習会開催事業	県民を対象に、スポーツ・レクリエーションインストラクターや、活動支援員を養成する講習会やレクリエーション体験イベントの開催事業。  【実施内容】 ①レクリエーション交流大会(ラダーゲッター、チャレンジゲーム、マンカラ) ②県民スポーツ・レクリエーションセミナー(あそびの素材市場、GWT(グループワークトレーニング)セミナー) ③スポーツ・レクリエーション活動支援者講座(レクリエーションアカデミー、スポ・レクアカデミー)	①ラダーゲッター(4月) 参加者:22名 チャレンジゲーム(6月) 参加者:16名 マンカラ(3月) 参加者:86名  ②あそびの素材市場(7月、11月) 福島市 参加者:46名 GWTセミナー(2月) 福島市 参加者:14名  ③レクリエーションアカデミー(全9回) 白河市 参加者:25名 スポ・レクアカデミー(全10回) 福島市 参加者:24名  スポーツレクリエーションを体験し、興味を持った人たちが、様々なスポーツ・レクリエーション講習を受講し、普及員として地域で活動するきっかけづくりとなった。	福島市内、サンフレッシュ白河、白河中央公民館、西郷村文化センター	1,193,451	800,000
合計						4,397,874	2,376,000

助成対象区分	Ⅱ	生涯スポーツの振興に対する事業への助成
助成対象事業名	2	スポーツを通じた人づくり事業
	3	障がい者のスポーツ環境に関する事業

助成率	上限額	500,000円
	助成割合	総助成対象経費の4/5以内

No.	団体名	事業名	事業内容	成果報告	事業実施箇所	確定	
						総助成対象経費	助成額
1	公益財団法人福島市スポーツ振興公社	チャレンジパラスポーツ	<p>小学生を対象としたパラスポーツ教室・体験会を開催し、パラスポーツの魅力を伝えるとともに、障がい者や共生社会への理解を深める事業。</p> <p>【実施内容】            ①車いすの基本動作と車いすバスケットボール教室（2回）            ②ポッチャ教室（2回）            ③競技用車いすや電動車いすなど、様々な車いすの体験会（1回）</p> <p>各回20名程度 全5回開催（チャレンジ1～5）</p>	<p>○チャレンジ1（7月14日 25名参加） ポッチャの基本ルール・ゲーム            ○チャレンジ2（8月19日 23名参加） 車いすの基本動作、車いすバスケットボールのルール、ミニゲーム            ○チャレンジ3（9月23日 25名参加） パラサイクルの説明、乗車体験、レース            ○チャレンジ4（10月21日 21名参加） ポッチャ            ○チャレンジ5（11月17日 10名参加） 車いすバスケットボール・ポッチャ大会</p> <p>普段あまり触れる機会のない競技用車いす体験やポッチャを通して、パラスポーツが障がい者だけが楽しむスポーツではないこと、スポーツは誰でも楽しめることを参加者が理解し、車いすユーザーの参加者と一緒にゲームを行い交流を深めていた。今後、さらに広くパラスポーツや共生社会について理解を深める事業を展開するきっかけをつくることできた。</p>	福島トヨタクラウンアリーナ（福島市国体記念体育館）	637,830	500,000
2	福島ソーシャルフットボールクラブ	ソーシャルフットボール教室	<p>【継続事業】            精神障がいを持つ人を対象に、スポーツを楽しむきっかけづくり、社会参画や居場所の創出を図るために作業療法士や障がい者スポーツ指導員を講師としたソーシャルフットボール教室の開催事業</p> <p>毎月1回 全12回開催予定            各回15名程度</p>	<p>全8回開催 延べ83名参加            （前年度 全7回開催 延べ80名参加）</p> <p>【実施内容】            準備運動、パスワークやドリブルなどボールに慣れる練習、シュート練習、アジリティトレーニング、試合形式のゲーム</p> <p>昨年度より回数、参加者とも増加したが、対象者が感染リスクの高い障がい者であることから、開催に慎重にならざるを得ず、感染が拡大している時期は休止を余儀なくされた。新規参加者の積極的な獲得は難しいが、これまでの参加者の運動機会の場を継続して確保できるよう努めていきたい。</p>	郡山市内体育館	103,956	83,000
合 計						741,786	583,000



助成対象区分	Ⅱ	生涯スポーツの振興に対する事業への助成
助成対象事業名	2	スポーツを通じた人づくり事業
	4	高齢者のスポーツ環境に関する事業

助成率	上限額	500,000円
	助成割合	総助成対象経費の4/5以内

No.	団体名	事業名	事業内容	成果報告	事業実施箇所	確定	
						総助成対象経費	助成額
1	特定非営利活動法人会津美里クラブ衆	めざせ健康レベルアップ！レク式体力チェック	60才以上の町民を対象に、参加者の体力や関心に合わせてコースを選択できる健康運動教室の開催事業。 【実施内容】 レク式体力チェック 全2回（初回と最終回） ①健康レベルアップコース（太極拳、お手軽エクササイズ、椅子ヨガ） ②はつらつ元気コース（ノルディックウォーク、ラージボール卓球、健康吹矢）  各コース 全12回開催予定	全25回 延べ132名の参加  レク式体力チェック 全2回 ①全12回（太極拳4回、お手軽エクササイズ4回、椅子ヨガ4回） ②全11回（ノルディックウォーク4回、ラージボール卓球4回、健康吹矢3回）  事業の初回と最終回に体力チェックを行うことで、自身の状態に合わせたコースを選択することができ、無理なく継続して参加できることにつながった。今後は、町と連携することでより多くの高齢者が参加しやすい事業になるよう取り組んでいきたい。	白鳳山公園、じげんプラザ、高田体育館、あやめ荘、宮川トリムコース、宮川河川敷	463,750	371,000
2	一般社団法人にほんまつ城山クラブ	シニアいきいき健康教室	60才以上の高齢者を対象に、JSAボールトレーニングエクササイズや脳トレのプログラムを取り入れて、包関節や認知症予防などの健康寿命の延長を図る健康運動教室の開催事業。  全48回開催予定	全43回開催 延べ388名参加  はじめは、動きや脳トレ（ライフキネティック）の複雑な指示の理解に時間がかかる参加者がほとんどであったが、継続して参加していくうちに楽しんで参加できるようになった。毎週、継続して運動する環境があることで、日常生活での体の動きも楽になったように感じる参加者もあり、運動を習慣づける機会となった。ただ、参加者は女性のみであったため、男性が参加しやすい内容も取り入れたい。	市民交流センター（二本松市）	345,990	213,000
3	総合型地域スポーツクラブマルベリーこおり	脳トレ×運動で認知症予防！ライフキネティック教室	高齢者を対象に、ライフキネティックを取り入れた認知予防の脳トレと運動機能のトレーニングをくみ合わせた運動教室の開催事業。  (全46回開催予定)	全39回 参加者：延べ309名  ボールやハンカチなどを使って行う、ボディコントロール、視覚機能や認知機能トレーニングを複合的に組み合わせたトレーニングで、最初は講師の指示どおりの動きができず苦戦していたが、徐々に慣れてくるとゲーム感覚で楽しみながら、失敗してもすぐに再チャレンジする姿などがあり、笑い声に溢れた教室となった。大会や発表会などの具体的な目標が提示できないせいか、参加者の拡大が難しく、特に男性の参加者がいなかったたので、今後はより多くの人に参加してもらえるような内容、広報を実施していきたい。	桑折町民体育館、イコーゼ！	293,631	234,000

4	いわき市レクリエーション協会	ニューススポーツフェスタ2022	<p>【継続事業】 主に高齢者を対象に、様々なニューススポーツを体験できるスポーツフェスタの開催事業。</p> <p>いわき市で10月に開催予定 300名程度の参加想定（高齢者以外も参加可能）</p> <p>【実施種目】 グラウンド・ゴルフ、ターゲット・バードゴルフ、パークゴルフ、ペタンク、ポッチャ、ウォーキング教室、バウンドテニス、健康太極拳、吹矢</p>	<p>10月16日 開催 参加者220名（前年度 140名）</p> <p>【実施種目】 グラウンド・ゴルフ、ターゲット・バードゴルフ、パークゴルフ、ペタンク、ウォーキング教室、バウンドテニス、健康太極拳、吹矢、ポッチャ、モルック、スラックライン</p> <p>モルックやスラックラインなど新種目を増やしたことで、高齢者と一緒に子や孫世代も来場しており、家族でスポーツを楽しむ様子が多く見られた。普段あまり運動する機会がない高齢者も、このようなイベントに参加をきっかけにニューススポーツを知り、継続してやってみたいという問い合わせがあるので、今後も地域のイベントとして継続して開催していきたい。</p>	21世紀の森公園コミュニティ広場、中央台公民館会議室	394,260	315,000
5	謹教スポーツクラブ	らくらく健康運動教室	<p>【継続事業】 主に60代以上の高齢者を対象に、チューブやボールを使った簡単な運動や、音楽に合わせて楽しく動けるエアロビクスの要素を取り入れた運動教室の開催事業 (毎週金曜日 全41回開催予定)</p>	<p>全31回開催 延べ590名参加 (5月～6月、2月～3月の教室が、まん延防止等重点措置により中止となった)</p> <p>【実施内容】 体をほぐすストレッチ、ボールを使った運動、かんたんエアロビクス、スクワットなど筋力アップ運動</p> <p>長引くコロナ禍で、特に感染拡大傾向にあった時期には外出機会や運動機会が減りがちになっていたが、参加者は教室で実施した運動を自宅でも行うことができたとのことで、運動習慣を身につける目的は達成できている考える。また、参加者は毎週定期的に通う楽しみがあるので、運動とコミュニケーションの場の両面から心身の健康に寄与している。</p>	謹教コミセン、會津稽古堂、旧学鳳高校東側体育館	395,430	316,000
合 計						1,893,061	1,449,000

助成対象区分	Ⅱ	生涯スポーツの振興に対する事業への助成
助成対象事業名	3	スポーツを通じた地域づくり事業
	1	地域活性化等に関する事業

助成率	上限額	800,000円
	助成割合	総助成対象経費の4/5以内

No.	団体名	事業名	事業内容	成果報告	事業実施箇所	確定	
						総助成対象経費	助成額
1	公益財団法人福島県都市公園・緑化協会	あづま球場みんなのボールパーク	東京五輪の会場となった県営あづま球場を一般開放し、子どもから高齢者まで楽しめる様々なコンテンツの体験型スポーツイベントの開催事業。  (体験イベント内容) ウォーキング、フライングディスク、ジャベリックボール、大玉転がし、迷路、パラスポーツ体験、スラッグライン、ストラックアウトなど	4月29日開催 入場者数600名  【体験イベント内容】 ジャベリックボール、大玉転がし、ミニ新幹線、ダンボール迷路、ストラックアウト、車イスバスケット体験  運動体験の他、グラウンド外周やダグアウト、マウンド、バッターボックスなど普段入ることができない場所での記念撮影や、バックヤードツアーなどを行い、子どもから大人まで楽しめる内容で五輪レガシーとして印象づけることができた。今後も地域の運動公園として多目的な活用方法を検討していきたい。	県営あづま球場	634,772	458,000
2	しらかわ郷里マラソン実行委員会	第20回しらかわ郷里マラソン		事業廃止		0	0
3	いいたてスポーツクラブ	いいたてスポーツ公園ナイター駅伝	町内および近隣市町村の住民を対象に、小学生、中学生、高校・一般の3部門で行うナイター駅伝の開催事業。	7月30日開催 ○小学生の部(1km×5区間)6チーム30名参加 ○中学生の部(2km×5区間)19チーム95名参加 ○高校・一般の部(3km×5区間)13チーム65名参加  村内や近隣市町村以外にも、県中や相双地区からも多くのチームが参加し、駅伝を通じた地域交流を図ることができた。また、いいたてスポーツ公園の施設を有効活用し、利用者呼び込むことで地域活性化を図ってきたい。	いいたてスポーツ公園	673,138	531,000
4	福島市スケートボード協会	福スマイル塾	【継続事業】 福島市内のスケートパークにて、子どもから大人までを対象に、初心者・中級者・上級者でクラス分けをして行うスケートボード教室の開催事業。 (年間7回開催予定)	全7回開催 延べ152名参加  十六沼公園と福島駅近くに新設した屋内スケートパークの2か所で交互に開催したことで、通しやすい場所でのスクールに親子で参加したり、初心者はボードの上に立つ基本練習から学び、上級者は障害物を乗り越えるトリックなどの技の習得など、レベルに合わせた内容から徐々に上達する姿や、上級者が初心者や中級者に参加者同士でコミュニケーションやレクチャーする姿もあり、世代を超えた交流ができていた。今後も安全に滑走できるパークの整備や、アーバンスポーツとしての普及拡大をさらに推し進めたい。	十六沼スケートパーク、BUSスケートパーク(福島市)	1,019,866	800,000

5	特定非営利活動法人福島市レクリエーション協会	2022年度福島市生涯スポーツ・レクリエーション普及振興事業	<p>【継続事業】</p> <p>①福島市民スポーツ・レクリエーション祭開催事業 (5月～7月にかけて10種目を実施) ・一般市民を対象に、の生涯スポーツ種目の体験会を市内各地で開催する</p> <p>②福島市民生涯スポーツ・レクリエーションフェア開催事業(全1回) ・福島市の中心地(街中広場)で、生涯スポーツやバリアフリースポーツの体験イベントの開催</p> <p>③ウォークラリー福島大会(全1回) ・福島市の中心市街地を歩くコースを複数設定し、子どもから高齢者までを対象としたウォークラリー大会の開催</p> <p>④レクリエーション財専科(全4回) ・施設職員、地域サロン担当者、事業内容に興味を持つ一般市民を対象に、コロナ禍に合わせたレクリエーション素材の選び方、実施方法の講義・体験による講習会の開催</p> <p>⑤福島レクリエーション・カレッジ(全9回) ・社会福祉施設職員などを対象に、(公財)日本レクリエーション協会が定める養成カリキュラムによるレクリエーション・インストラクターの養成講習会の開催</p>	<p>①福島市民スポーツ・レクリエーション祭開催事業 10種目(スポーツウェルネス吹矢、木球、健康ウォーキング、ディスクゴルフ、バウンドテニス、パークゴルフ、インディアカ) 延べ700名参加</p> <p>②福島市民生涯スポーツ・レクリエーションフェア開催事業 5月に福島駅東口広場で開催。延べ715名参加</p> <p>③ウォークラリー福島大会(5月22日開催) 市内中心市街地に2コースを設置し、延べ68名参加。今年度は車いすでの参加者や幅広い年齢層の参加があった。延べ68名参加</p> <p>④レクリエーション財専科(全4回開催 延べ85名参加) 「身近な道具を使ったレクリエーション活動」をテーマに、新聞紙、風船、風呂敷、お手玉などを素材に使用したレクリエーション活動の体験・講義を実施した。</p> <p>⑤福島レクリエーション・カレッジ(全9回 延べ142名) 社会福祉施設職員、ボランティア、興味を持つ一般市民など幅広い層からの参加があったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、特に子どもの施設に関わる職員などに途中で参加を断念せざるを得ない参加者もいた。</p> <p>前年度に比べると、いずれも参加者は増加しており規模の縮小はあるものの、コロナ禍以前の内容に戻りつつあることを実感した。</p>	福島市内全域	1,172,158	800,000
合 計						3,499,934	2,589,000

助成対象区分	Ⅱ	生涯スポーツの振興に対する事業への助成
助成対象事業名	3	スポーツを通じた地域づくり事業
	2	交流人口拡大に関する事業

助成率	上限額	800,000円
	助成割合	総助成対象経費の4/5以内

No.	団体名	事業名	事業内容	成果報告	事業実施箇所	確定	
						総助成対象経費	助成額
1	特定非営利活動法人ただみコミュニティクラブ	ただみスノースポーツフェスティバル2023	<p>【継続事業】 町内のサンドコートを押雪してスノーコートにし、県内全域から参加者を募集して2日間のスノースポーツフェスティバルを開催する事業</p> <p>【実施種目】 スノーバレーボール、雪上フットサル、スノーレクリエーション（フレスコボール、スパイクボール）</p>	<p>3月18日～19日 延べ180名参加（前年度 135名）</p> <p>【スノーバレーボール】 中学生以上の参加とし、3人制4組、4人制9組が大会形式でのゲームを行った。 【雪上フットサル】 小学生の部6チーム、大人の部6チームが大会形式でゲームを行った。 【スノーレクリエーション】 来場者が気軽にスノースポーツを体験できるフレスコボール、スパイクボールの体験コーナー。</p> <p>今年度はプロアスリートをゲストに招いたり、SNSなどで広くPRしたことで、県外からも参加や問い合わせが多くがあった。豪雪地帯ならではの魅力や地域資源を活用したスポーツの楽しみ方についても発信でき、この事業を通じてスノーレクリエーションイベントを立ち上げた自治体もあった。今後もスポーツによる地域おこしや県内外との交流促進を継続していきたい。</p>	亀岡スポーツパーク（只見町）	1,061,339	800,000
2	公益財団法人福島市スポーツ振興公社	WaterPoloフェスティバル	<p>福島市内の小学生～高校生および、東北、関東、上越の水球スポーツ少年団や代表チームを福島市に招待し、交流試合や元日本代表選手による水球クリニック（講習会）、体験会を開催する事業。</p> <p>福島市中央市民プールで3日間開催予定</p>	<p>8月27日～28日開催 ①水球体験教室 小学生17名参加 ②交流試合 県内2チーム、県外1チーム参加</p> <p>会場となった中央市民プールは震災以来12年ぶりに利用再開され、平成7年の福島国体の水球会場となった場所での事業であったが、開催予定時期に福島市内での新型コロナウイルス感染症の感染者が増加したことにより、参加者や日程の縮小となった。また来年度以降、地域の市民プールをより多くの人々が利用するきっかけとなるような事業を企画し、有効活用につなげていきたい。</p>	福島市中央市民プール	716,720	573,000
3	公益社団法人富岡町さくら文化・スポーツ振興公社	富岡親善ポッチャ交流会	<p>町民および近隣住民を対象に、ポッチャの講習会や交流会を開催し、地域住民の交流促進や地域で活動するポッチャ指導者の養成を図る事業。</p> <p>（各4回 全8回開催予定）</p>	<p>全5回開催（ポッチャ講習会 3回、ポッチャ交流会 2回） 参加者：延べ84名</p> <p>3月末の地震で体育館が被災し使用不能となったり、新型コロナウイルス感染症の影響により、変更する会場の確保や講師の都合が合わなかったため、事業開始が遅れてしまったが、地域のスポーツ推進委員や老人クラブなどを中心に、日本ポッチャ協会の村上光輝氏より講習を受けルールや競技運営などを学んだ。交流大会では受講者が中心となって競技進行を行っており、今後は住民主体でポッチャを通じたスポーツ活動推進の基盤作りを行うことができた。</p>	富岡町武道館	653,991	523,000
4	公益財団法人福島県スポーツ協会福島県スポーツ少年団	感謝を込めて、ようこそ福島へ！！ ～2022記念交流～		事業廃止		0	0
合計						2,432,050	1,896,000

助成対象区分	Ⅲ	スポーツ施設の整備と活用に対する事業への助成
助成対象事業名	4	スポーツ相談・啓発・情報提供事業

助成率	上限額	目的を達成するために必要な額
	助成割合	総助成対象経費の5/5以内

No.	団体名	事業名	事業内容	成果報告	事業実施箇所	確定	
						総助成対象経費	助成額
1	公益財団法人福島県スポーツ協会	スポーツ相談・啓発・情報提供事業	<p>【幼児運動啓発事業】</p> <p>①親子体操教室・指導者養成講習会</p> <p>【スポーツ医事・トレ相談等事業】</p> <p>①スポーツ医事・トレーニング相談事業 (講師派遣・メール・FAX)</p> <p>②県体協認定アスレチックトレーナー養成研修</p> <p>③県体協認定スポーツ栄養士のスキルアップ研修</p> <p>【(公財)日本スポーツ協会公認コーチに関わる事業】</p> <p>①スポーツ指導者の資質向上と競技別指導者の養成</p> <p>【HP運営及び広報誌の発行事業】</p> <p>①県体協HPの管理・運営</p> <p>②Sports Fukushimaの刊行(年1回)</p> <p>③福体協ニュースの発行(随時)</p> <p>④その他</p>	<p>【幼児運動啓発事業】(郡山市)</p> <p>①親子体操教室 親子57組 157名 指導者養成講習会 27名 (昨年度は新型コロナウイルス感染症により中止)</p> <p>【スポーツ医事・トレ相談等事業】</p> <p>①全48回(昨年度22回)</p> <p>②③ 各1回実施</p> <p>【(公財)日本スポーツ協会公認コーチに関わる事業】</p> <p>指導者養成講習(全2回) 6種目 120名</p> <p>【HP運営及び広報誌の発行事業】</p> <p>①県スポ協HPの管理(随時)閲覧数186,878件</p> <p>②Sports Fukushimaの刊行(年1回)</p> <p>③福スポ協ニュースの発行(年12回)</p> <p>【その他】</p> <p>スポーツ指導者研修会(1回開催)</p>	福島県内全域	5,410,921	5,410,921
合 計						5,410,921	5,410,921

助成対象区分	Ⅳ	その他基金の目的を達成するために必要な事業への助成
助成対象事業名	5	ふくしまスポーツキッズ活動支援事業

助成率	上限額	目的を達成するために必要な額
	助成割合	総助成対象経費の5/5以内

No.	団体名	事業名	事業内容	成果報告	事業実施箇所	確定	
						総助成対象経費	助成額
1	公益財団法人福島県スポーツ協会	ふくしまスポーツキッズ発掘事業	<p>県内の小学3年生～6年生までを募集し、各種体力測定や、様々な種目の体験プログラム、保護者を対象とした栄養学講座など3つのステージで実施し、子どもたちが興味を持てるスポーツに取り組みきっかけや、生涯にわたりスポーツに親しむ環境づくりの核となる人材の育成を図る事業</p> <p>【第1ステージ】</p> <p>キッズチャレンジ(体力測定)県内2会場</p> <p>【第2ステージ】</p> <p>①体験プログラム 18競技程度</p> <p>②クロストレーニング 5競技程度</p> <p>【第3ステージ】</p> <p>①ジュニアサポートプログラム(中学生対象)</p> <p>②東京都との交流プログラム</p>	<p>【第1ステージ】</p> <p>2会場(福島市、郡山市 各2回) 参加者:137名</p> <p>【第2ステージ】</p> <p>①13競技 参加者:316名 (カヌー、セーリング、ボクシング、テニス、フェンシング、トリアスロン、銃剣道、トランポリン、スケート、相撲、ソフトテニス、ライフル、ボクシング)</p> <p>(前年度:8競技 参加者:164名)</p> <p>②3競技実施 延べ160名参加 (アイスホッケー、バスケットボール、フェンシング)</p> <p>※トランポリン、体操が中止となった。 (前年度:4競技実施 参加者:160名)</p> <p>【第3ステージ】</p> <p>①コーディネーショントレーニング 参加者:11名</p> <p>②中止</p> <p>※中止は全て新型コロナウイルス感染症による</p>	福島県内全域	2,021,169	2,021,169
合 計						2,021,169	2,021,169

助成対象区分	IV	その他基金の目的を達成するために必要な事業への助成
助成対象事業名	6	ふくしまレクリエーションフェスタ支援事業

助成率	上限額	目的を達成するために必要な額
	助成割合	総助成対象経費の5/5以内

No.	団体名	事業名	事業内容	成果報告	事業実施箇所	確定	
						総助成対象経費	助成額
1	ふくしまレクリエーションフェスタ実行委員会	ふくしまレクリエーションフェスタ2022兼健康スポーツフェスティバル2022福島兼第42回福島県レクリエーション大会	様々なレクリエーションスポーツ大会や、レクリエーションスポーツ体験イベントの開催、レクリエーションサポーターセミナーの開催事業。  (主会期：8月～9月 開催地：いわき市)	○レクリエーションスポーツ大会の開催 14種目 参加者：延べ973名 県内の各レクリエーション競技団体が、誰でも参加できる大会を開催し、レクリエーションスポーツの普及や交流を図った。  ○体験交流広場（いわき駅前広場） 参加者：延べ1,016名（2日間） スラックライン、木球、パークゴルフなどのレクリエーションスポーツの他、釣りっこゲームやマンカラなどのゲームも実施。特に10代の参加者が多く見られた。  ○介護レクリエーションサポーターセミナー 受講者：27名 3時間の講習で、介護の場面でのレクリエーション活動のノウハウを学び、日本レクリエーション協会の「介護レクリエーション・サポーター」の資格を取得。	いわき市全域	963,246	950,000
合 計						963,246	950,000

助成対象区分	IV	その他基金の目的を達成するために必要な事業への助成
助成対象事業名	7	スポーツボランティア支援事業

助成率	上限額	目的を達成するために必要な額
	助成割合	総助成対象経費の5/5以内

No.	団体名	事業名	事業内容	成果報告	事業実施箇所	確定	
						総助成対象経費	助成額
1	NPO法人うつくしまスポーツルーターズ	スポーツボランティア育成事業	①県内のスポーツイベントへのボランティア派遣 ②会議の開催 総会（6月）理事会（年5回程度） ③スポーツボランティアリーダーの確保 ④スポーツボランティア普及のための研究、講演、会員交流等	①派遣回数35回 延べ509名（前年度15回、248名）を県内各地で開催されたスポーツイベントや全国中体連陸上競技大会へ派遣。また、B2の福島ファイヤーボンズとのボランティア活動契約を締結し、今後の活動基盤の整備も行うことができた。福島ファイヤーボンズ、福島ユナイテッドFCのホームゲームではシーズンを通して述べ809名のボランティアを派遣した。 ②総会（6月）、理事会（年5回） ③研修会（8回 延べ182名）、スポボラ交流会（5回 延べ162名） ④ホームページやSNS（スポ・ボララジオ、ポッドキャスト、Facebookなど）を通じて会員への情報提供やオンライン交流会の開催、講演会や研修会での講師などを務めた。	福島県内全域	1,098,100	1,050,000
合 計						1,098,100	1,050,000

助成対象区分	IV	その他基金の目的を達成するために必要な事業への助成
助成対象事業名	8	生涯スポーツ地域連携事業
	1	総合型地域SC(スポーツクラブ) 支援事業

助成率	上限額	850,000円
	助成割合	総助成対象経費の5/5以内

No.	団体名	事業名	事業内容	成果報告	事業実施箇所	確定	
						総助成対象経費	助成額
1	特定非営利活動法人かがみいしスポーツクラブ	スポーツ×SDGs	<p>地域の他団体と連携し、スポーツを通じて地域の福祉、環境保護、まちづくりに参加し、スポーツコミュニティの定着、拡充を図る事業。</p> <p><b>【実施内容】</b>            (1) ウォーキング×ゴミ拾い            ・ゴミ拾いウォーク (月1回程度)            ・スポーツゴミ拾い大会 (年1回)            (2) パラスポーツと地域の福祉コミュニティ            ・パラスポーツ教室の開催 (月2回程度)            ・幼稚園、小学校への出前型パラスポーツ教室            ・パラスポーツ交流運動会 (年1回)            (3) 親子運動教室            ・幼児親子運動教室 (月1回程度)</p> <p><b>【連携先】</b>            町役場、町教育委員会、町内教育機関、子育てサークル、パラスポーツ団体、スポーツ施設など</p>	<p>(1) ウォーキング×ゴミ拾い            ・ゴミ拾いウォーク (全9回 延べ106名)            ・スポーツゴミ拾い大会 (全1回 延べ37名)            (2) パラスポーツと地域の福祉コミュニティ            ・ポッチャ教室 (全31回 延べ258名)            ・リズムステップ教室 (全6回 延べ44名)            ・放課後児童クラブでの出前教室 (全3回)            ・パラスポーツ・ニュースポーツ交流会            ・モルック交流会 (全1回 53名)            ・ノルディックウォーキング (全1回 19名)            (3) 親子運動教室            ・幼児親子運動教室 (全6回 延べ40組)</p> <p>関係各所と連携して事業を行うことで、普段のクラブでの活動とは違った内容の取組ができ、より幅広い参加者の獲得や、出前型での教室開催により、運動機会の少ない人たちへの機会提供ができた。今後も継続することで、より地域に必要とされるクラブとなり、スポーツコミュニティの定着を図っていきたい。</p>	鏡石町内全域	1,009,271	850,000
2	きたあいづスポーツクラブ	地域との連携を生かした介護予防教室・ユニバーサルスポーツ教室	<p><b>【継続事業】</b>            地域の他団体と連携し、地域の高齢者、障がい者を対象としたスポーツ教室を開催や地域住民からボランティアを募ることにより地域に根ざしたスポーツ活動を図る事業</p> <p><b>【実施内容】</b>            ①介護予防教室            50代以上を対象とした運動教室            (月3回程度 全36回開催予定)            ②ユニバーサルスポーツ教室            障がい者、支援学校や施設の職員、障がい者スポーツに興味のある人を対象としたユニバーサルスポーツ教室            (月2回程度 全24回開催予定)            ③地域スポーツボランティア活用            ①、②の事業で補助員や、感染症対策要員として活動してくれるボランティアを地域住民から募集し共に活動する事業            (各教室3名程度活動予定)</p> <p><b>【連携先】</b>            社会福祉協議会、スポーツ推進委員、パラスポーツ団体など</p>	<p>①介護予防教室            ・介護予防を目的とした運動            スクエアステップ、ウォーキング、ボール体操、リズム体操、頭の体操運動、フラダンスなど            (全32回 延べ304名参加)</p> <p>②ユニバーサルスポーツ教室            ポッチャ、フライングディスク、風船を使った運動、ストレッチ体操など            (全11回 延べ134名参加)</p> <p>③地域スポーツボランティア            地域ボランティア 延べ62名            中学生・学生ボランティア 延べ12名            ※夏休み期間中には地域の中学生や学生がボランティアとして、補助員や感染症対策(消毒など)を行った。</p> <p>コロナ禍であり、対象が高齢者や障がい者ということもあるため、あまり積極的な周知はできなかったが、紹介や口コミにより少しずつ参加者が増えていった。また、地域住民の他、地域の中学生や学生がボランティアとして参加し、補助員や感染症対策要員として活動して参加者との交流も図ることができ、それぞれの立場で参加することでスポーツを通じたコミュニティ形成に役立っていた。</p>	北会津公民館	731,620	641,000



3	特定非営利活動法人たまかわ元気スポーツクラブ	ニュースポーツに親しもう/スポーツで学校支援/バレーボール教室	<p>【継続事業】 村内の団体と連携し、地域住民がスポーツ活動に参加する機会を定着させる目的で行う、スポーツ教室の開催、村内の小中学校へのスポーツ支援、支えるスポーツとしてのスポーツボランティアの募集・活動を行う事業</p> <p>【実施内容】 ①ニュースポーツに親しもう ・ティーボール講習会（全6回） ・ソフトバレーボール講習会（全6回） ・ノルディック・ウォーキング（全6回）</p> <p>②スポーツで学校支援 村内の小・中学校に運動指導者を派遣し、おもに支援学級の生徒と運動を一緒に行う事業（村内の小中学校で合計20回程度予定）</p> <p>③スポーツボランティアの登録・活用 地域に定着するスポーツボランティアとしての登録・活動する住民を募る事業</p> <p>【連携先】 村内小中学校、スポーツ少年団、各種スポーツ団体など</p>	<p>①ニュースポーツに親しもう 【ティーボール講習会】（全3回 延べ47名） 連携先の村のソフトボールスポ少の指導者が指導にあたった。講習会への参加した小学生がスポ少に加入するなど、継続してスポーツを行うきっかけとなっており、人数減少が続くスポ少にとっても入会者を獲得するきっかけとなっている。 【ソフトバレーボール講習会】（全2回 延べ51名） 村の少年球技大会の種目であることから、初めて参加する児童が多く、普段あまり運動をしない児童への運動機会を提供できた。また、付き添いで来た保護者が興味を持ち、連携先の家庭バレーボール協会に加入したり、広く効果があった。 【ノルディック・ウォーキング】（全6回 延べ83名参加） 中高年を対象に、初回にノルディックウォーキングについての説明や、ボールを使って歩く効果などの説明を行った。村内や近隣の景勝地で実施し、季節の景色を楽しみながら行うことができた。</p> <p>②スポーツで学校支援 （全27回 延べ119名参加） 村内の小中学校や地域おこし協力隊と連携し、支援クラスや小中学校の指導補助を実施。 中学校では特別支援クラスで、ストレッチボールを使った運動を行い、村教育長の視察もあった。小学校では縄跳び、跳び箱、倒立などを行った。</p> <p>③スポーツボランティアの登録・活用 延べ18名が補助員や感染症対策を担当。</p>	すばーく玉川、クックドーム玉川、玉川中学校、玉川第一小学校、須釜小学校、あづま総合運動公園、鏡石町	435,490	426,000
4	一般社団法人榎葉町スポーツ協会	児童・地域住民のスポーツ導入事業	<p>【継続事業】 地域の他団体およびスポーツボランティアと連携し、児童が気軽に楽しむことができる安田式体操、高齢者が安全参加しやすいポッチャ教室などのスポーツ導入教室を開催し、地域への生涯スポーツの普及と定着を促進する事業。</p> <p>【実施内容】 安田式体育遊び、ポッチャ、サッカー・ウォーキングサッカー（年4回開催予定）</p> <p>【連携先】 町教育委員会、町住民福祉課、社会福祉協議会、町内教育機関</p>	<p>7月25日（安田式体操、サッカー） 参加者13名 8月3日（安田式体操、サッカー） 参加者11名 12月26日（安田式体操、ポッチャ） 参加者15名 1月5日（安田式体操、ポッチャ） 参加者20名</p> <p>全4回 ボランティア4名</p> <p>【実施内容】 安田式体育遊び体操、サッカー教室、ポッチャ教室</p> <p>夏休みや冬休みなど、長期休暇期間に開催したことで、普段は運動に参加する機会の少ない子どもたちや帰省してきた親子などが参加できた。特にポッチャは高齢者も安全に参加しやすいスポーツであることから好評であった。その反面、会場まで保護者の送迎が必要になることなどから、今後は町の行政とさらに連携し、対策を講じていきたい。また、スポーツボランティアについては、今後も周知方法を工夫しながらボランティアスタッフを増員していきたい。</p>	ならはスカイアリーナ、陸上競技場	807,723	806,000
合 計						2,984,104	2,723,000

助成対象区分	IV	その他基金の目的を達成するために必要な事業への助成
助成対象事業名	8	生涯スポーツ地域連携事業
	2	広域スポーツセンター支援事業

助成率	上限額	目的を達成するために必要な額
	助成割合	総助成対象経費の5/5以内

No.	団体名	事業名	事業内容	成果報告	事業実施箇所	確定	
						総助成対象経費	助成額
1	公益財団法人福島県スポーツ協会	広域スポーツセンター事業	①設立市町村訪問 県内の市町村を訪問し、クラブの創設や育成支援を行う事業。 ②公認アシスタントマネージャー養成講習会の開催 8月に2日間、福島市で開催予定。 ③情報提供事業 ホームページ等により、各種情報提供や広報活動を行う。 ④その他 各種関係会議の開催や出席、各種調査	①市町村訪問 3か所（福島市、須賀川市、田村市） 新設クラブオープニングセレモニー出席（伊達市） ②8月24日・25日（福島市） 受講者：13名 感染症対策として、人数を制限しての開催となったが、総合型クラブの役割と現状、クラブ運営、法人格取得などについての講義やグループワークにより、日本スポーツ協会公認アシスタントマネージャー資格試験に必要な知識の習得を行った。 ③ホームページを活用し、様々な情報提供を行った。 今後もクラブが必要とする情報を提供していきたい。 ④関係先との会議、説明会等への出席	福島県内全域	900,291	900,000
合 計						900,291	900,000

助成対象区分	IV	その他基金の目的を達成するために必要な事業への助成
助成対象事業名	8	生涯スポーツ地域連携事業
	3	総合型地域SC(スポーツクラブ)支援事業

助成率	上限額	目的を達成するために必要な額
	助成割合	総助成対象経費の5/5以内

No.	団体名	事業名	事業内容	成果報告	事業実施箇所	確定	
						総助成対象経費	助成額
1	公益財団法人福島県スポーツ協会	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会事業	①会議の開催 総会、常任監事会、専門部会の開催 ②研修会・交流会の開催 ③全国・東北事業 東北ブロックネットワークアクション実行委員会 東北ブロックネットワークアクション参加（岩手県） SC全国ネットワーク総会への出席 その他関連事業への出席 ④クラブ支援事業 ⑤広報啓発事業 ⑥登録・認証制度運用	①会議の開催 総会 全2回、常任幹事会 全3回 ②研修会・交流会の開催 モルック交流会の開催（2月 玉川村） ③全国・東北事業 東北ブロックネットワークアクション実行委員会への出席（オンライン） 東北ブロックネットワークアクション参加（岩手県） SC全国ネットワーク総会への出席（オンライン） その他関連事業への出席 ④クラブ支援事業 県内6地区のSCの研修会や交流会の開催にかかる経費補助、運営費を補助。 ⑤広報啓発事業 ホームページによる情報提供の他、リーフレット、クリアファイル、のぼりを作成 ⑥登録・認証制度運用 申請から登録までの手続き、登録審査委員会の開催。	福島県内全域	8,049,370	8,049,370
合 計						8,049,370	8,049,370

助成対象区分	IV	その他基金の目的を達成するために必要な事業への助成
助成対象事業名	9	障がい者スポーツ地域連携事業

助成率	上限額	目的を達成するために必要な額
	助成割合	総助成対象経費の5/5以内

No.	団体名	事業名	事業内容	成果報告	事業実施箇所	確定	
						総助成対象経費	助成額
1	公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会	福島県障がい者スポーツ普及・振興推進事業	<p>①地域スポーツ教室等開催支援事業 （障がい者スポーツ指導者競技会が、障がい者を対象としたスポーツ教室や大会を開催する費用を助成する） ※県内6支部 5回～15回程度の開催予定</p> <p>②障がい者団体スポーツ活動支援事業 （障がい者を対象にスポーツ活動を行う団体への補助） ※10団体程度を想定</p> <p>③障がい者スポーツ地域連携促進事業 （ボッチャの出前講座等、健常者に障がい者スポーツに親しむ機会を提供し、理解を深めるきっかけをつくる事業） ※県内の総合型地域スポーツクラブ 24回程度想定</p>	<p>①地域スポーツ教室等開催支援事業 各支部でのフライングディスク、ボッチャ等のスポーツ教室・大会開催に要する費用の助成。 ○教室開催（県北、県中、県南、会津、いわき） 全45回 延べ590名参加 ○大会開催（会津・県中） 全2回 延べ45名参加</p> <p>②障がい者団体スポーツ活動支援事業 福祉団体等が主催するスポーツ・レクリエーションを通じた社会参加活動に要する費用の助成（9団体）</p> <p>③障がい者スポーツ地域連携促進事業 福島県の委託事業となったため、基金の助成事業としては実施しなかった。</p>	福島県内全域	1,117,480	1,117,000
合 計						1,117,480	1,117,000

助成対象区分	IV	その他基金の目的を達成するために必要な事業への助成
助成対象事業名	10	地域スポーツ活動再開支援事業

助成率	上限額	50,000円
	助成割合	総助成対象経費の5/5以内

※地域スポーツ活動再開支援事業については、1～9のいずれかの事業と併用での交付とされる。

No.	団体名	事業名	事業内容	成果報告 【助成金の活用方法】	確定	
					総助成対象経費	助成額
1	特定非営利活動法人ただみコミュニティクラブ	地域スポーツ活動再開支援事業	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施し、安全に事業を行うための対策を講じる事業	ワイヤレスマイクを使用により飛沫の拡散防止（講師・スタッフ）	56,000	50,000
2	しらかわ郷里マラソン実行委員会	地域スポーツ活動再開支援事業	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施し、安全に事業を行うための対策を講じる事業	※申請事業が中止となったため、事業廃止	0	0
3	特定非営利活動法人会津美里クラブ衆	地域スポーツ活動再開支援事業	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施し、安全に事業を行うための対策を講じる事業	受付時の検温、ワイヤレスマイクの使用により飛沫の拡散防止（講師）、消毒用アルコールで手指や用具の消毒	38,483	38,000
4	特定非営利活動法人かがみいしスポーツクラブ	地域スポーツ活動再開支援事業	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施し、安全に事業を行うための対策を講じる事業	入場時の検温、マスク着用に加えフェイスガードを使用し飛沫拡散を防止（講師・スタッフ）、ソーシャルディスタンス確保のためにマーカーを設置、消毒用アルコールで手指・物品等の消毒	54,942	50,000
5	公益財団法人福島市スポーツ振興公社	地域スポーツ活動再開支援事業	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施し、安全に事業を行うための対策を講じる事業	入場時の検温、ワイヤレスマイクや電子ホイッスル等を使用し飛沫拡散を防止、ソーシャルディスタンス確保のためにマーカーを設置、消毒用アルコールで手指・物品等の消毒	48,060	48,000
6	特定非営利活動法人白河市体育協会	地域スポーツ活動再開支援事業	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施し、安全に事業を行うための対策を講じる事業	除菌、消毒用のアルコールなどを使用し、会場および使用する器具のこまめな消毒を実施	50,448	50,000
7	公益財団法人福島市スポーツ振興公社	地域スポーツ活動再開支援事業	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施し、安全に事業を行うための対策を講じる事業	除菌、消毒用のアルコールなどを使用し、会場および使用する器具のこまめな消毒を実施	46,850	46,000
8	ハマダメディカルサポート株式会社	地域スポーツ活動再開支援事業	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施し、安全に事業を行うための対策を講じる事業	受付時の検温、消毒用アルコールで手指や用具の消毒	51,814	50,000
9	こみち体操クラブ	地域スポーツ活動再開支援事業	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施し、安全に事業を行うための対策を講じる事業	除菌シートや消毒用アルコールで会場や使用物品の消毒を適宜実施	43,326	43,000
10	一般社団法人檜葉町スポーツ協会	地域スポーツ活動再開支援事業	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施し、安全に事業を行うための対策を講じる事業	入口、受付での手指消毒用アルコール設置、ワイヤレスマイクを使用し飛沫拡散防止（講師）、物品等の消毒	51,042	49,000
11	特定非営利活動法人福島市レクリエーション協会	地域スポーツ活動再開支援事業	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施し、安全に事業を行うための対策を講じる事業	受付・会場にパーティションを設置、養生テープや足形のマーキングを使用し間隔の確保、電子ホイッスルの使用、消毒用アルコールでの消毒	44,480	43,000
12	NPO法人福島県スポーツマネジメント協会	地域スポーツ活動再開支援事業	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施し、安全に事業を行うための対策を講じる事業	消毒用アルコールで手指や物品、会場の消毒	50,000	50,000
13	特定非営利活動法人福島県レクリエーション協会	地域スポーツ活動再開支援事業	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施し、安全に事業を行うための対策を講じる事業	実行委員会等の会議開催時の消毒	31,000	31,000
合 計					566,445	548,000